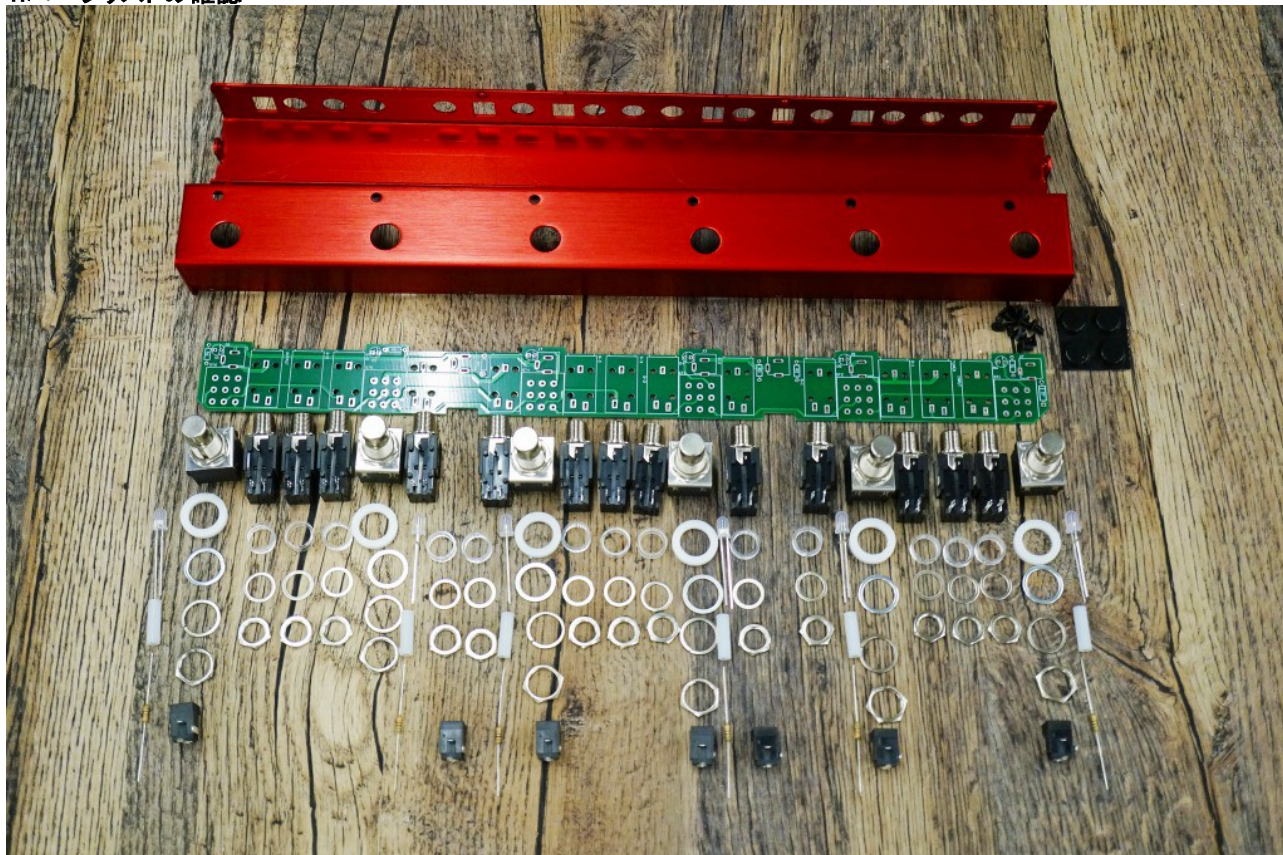


## One Control / LWP Series 5Loop Switcher with Tuner Out Kit

このたびはワンコントロール エルダブルービーシリーズファイブループスイッチャーウィズチューナーアウトキットをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
制作に入る前に、必ずパーツリストをご確認いただき、パーツの欠品等が無いことをご確認ください。  
万が一欠品等ございました場合は、お買い上げいただきました楽器店までご連絡ください。

### 1. パーツリストの確認



#### パーツリスト

- 1× ケース(穴開け済)
- 1× ケース裏蓋
- 13× モノラルジャック
- 13× ジャック用ナット
- 13× ジャック用ワッシャー
- 13× リング(透明)
- 7× DC インput端子
- 7× DC インput端子ナット
- 1× メイン PCB
- 6× 抵抗
- 5× 赤 LED
- 1× 青 LED(パッケージ内で個別に包装されています。上記のように並べるとわからなくなるのでご注意ください。)
- 6× LED スペース
- 6× フットスイッチ
- 6× フットスイッチナット(外側)
- 6× フットスイッチナット(内側)
- 6× フットスイッチリング(白)
- 10× ネジ(筐体につけられています。)
- 1× ゴム足セット
- 1× 6角レンチ

## パーツの確認方法

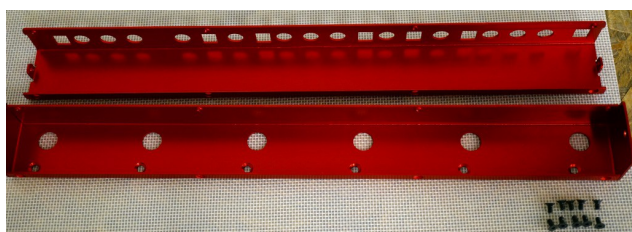
パーツは大きく分けて筐体、PCB、LED 関連、フットスイッチ関連、ジャック関連パーツに分かれます。LED、フットスイッチ、ジャックの関連パーツをまとめると確認がしやすくなります。



左上: LED 関連パーツ。LED は赤と青がありますが、外見は同じです。青 LED は個別にパッケージされていますので、使用する際までパッケージから出さず、分かるように保管してください。

右上: フットスイッチ関連パーツ

左下: ジャック関連パーツ



また、筐体は組み立てられた状態で入っていますので、筐体のネジを付属の 6 角レンチで外し、ケースを開いてから制作を開始します。ケースはオリジナル形状です。取り外したらケースの構造を確認しておいてください。

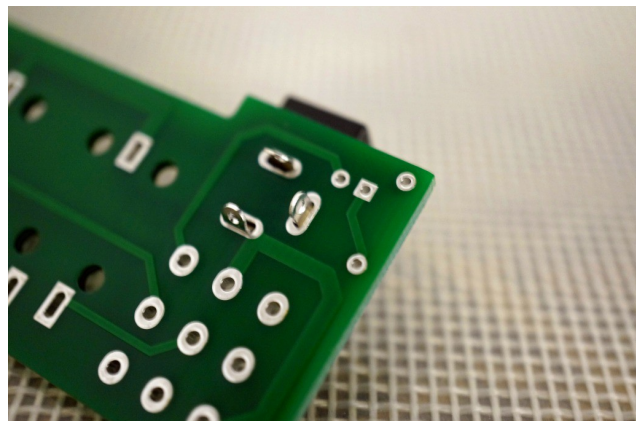
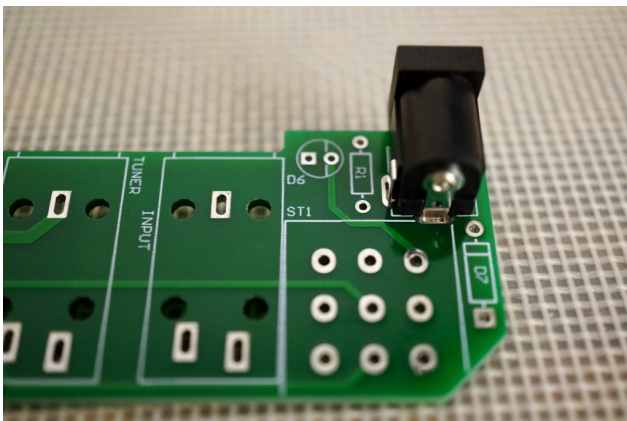
付属品が不足していないことを確認してから製作を行います。製作をはじめると、交換等のご対応ができない場合がございます。

必ずパーツが不足していないことをご確認ください。

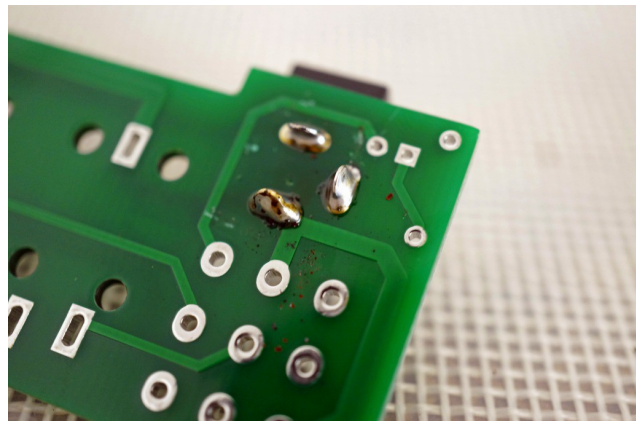
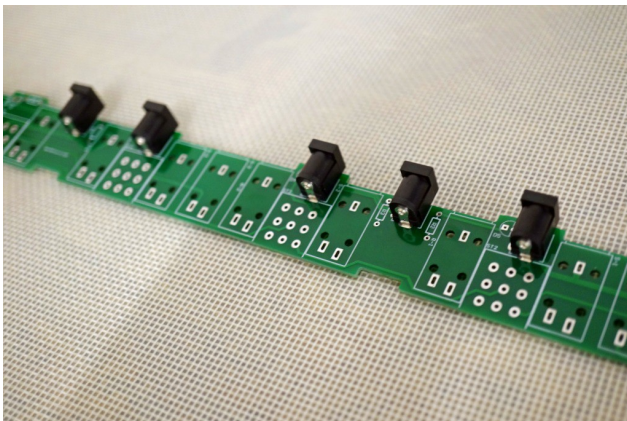
また、製作には以下の器具が必要です。

- ・はんだごて
- ・はんだ
- ・ニッパー(ペンチ等)
- ・はんだ吸い取り器(トラブルシューティング用)

## 2. パーツの PCB への組み込み

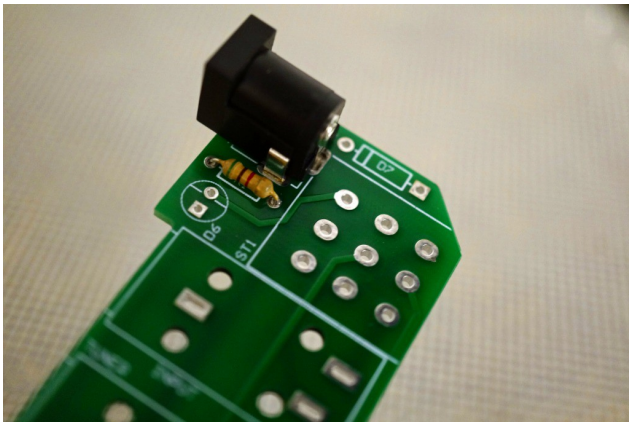


まず、DC ジャックを取り付けます。PCB の表記面に合わせ、端子を差し込みます。裏側から見たところ

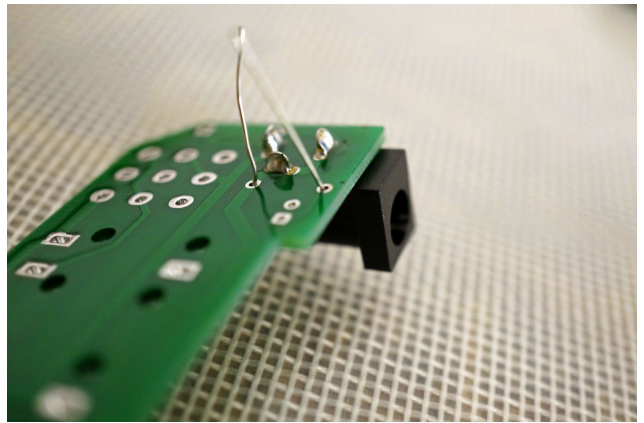


すべての DC ジャックをしっかりと差し込みます。

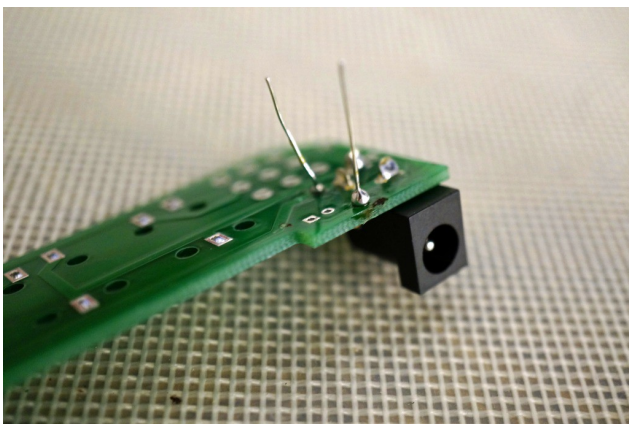
端子がしっかりと差し込まれた状態ではんだ付けをします。はんだをつける際、DC ジャックが PCB から浮いた状態にならないよう注意してください。



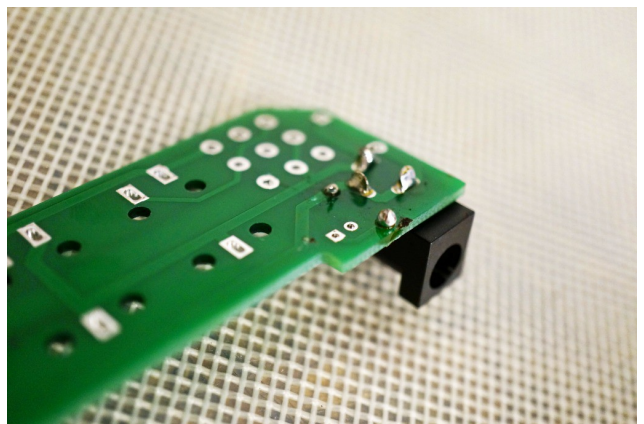
次に、抵抗を取り付けます。



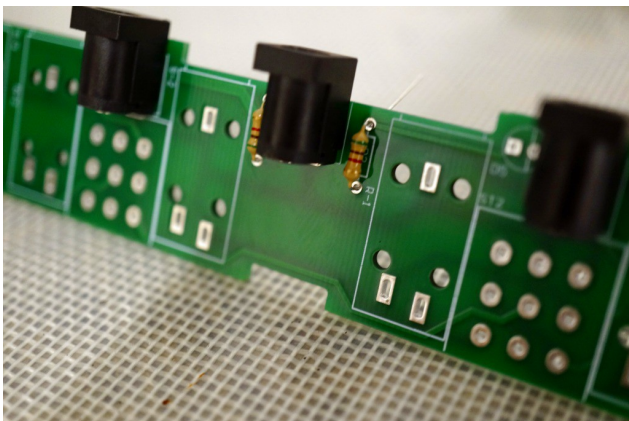
抵抗を奥まで差し込みます。方向はどちらでもかまいません。



リード線を出したまま、根本をはんだ付けします。



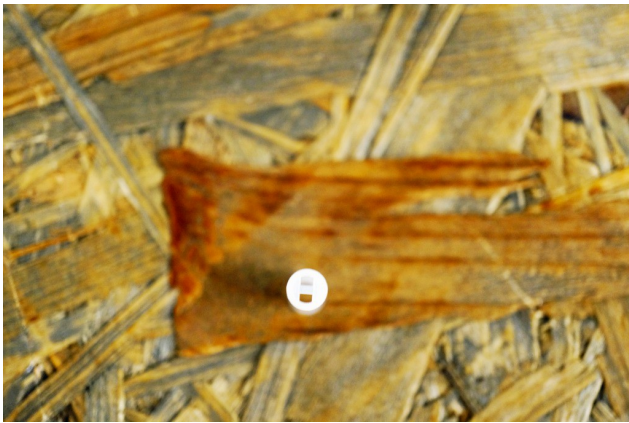
はんだを付けたら、余ったリード線を切り取ります。



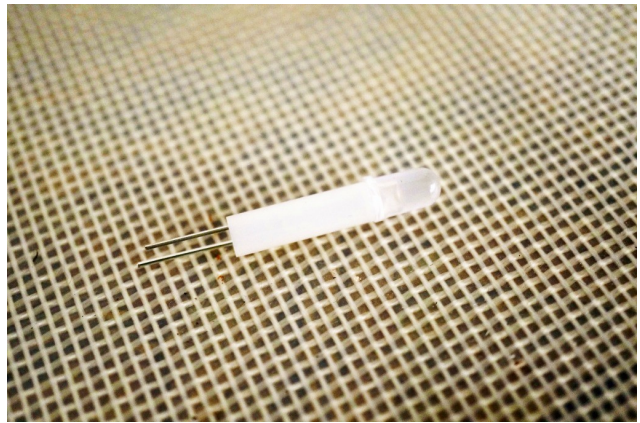
同様にすべての抵抗を取り付けます。



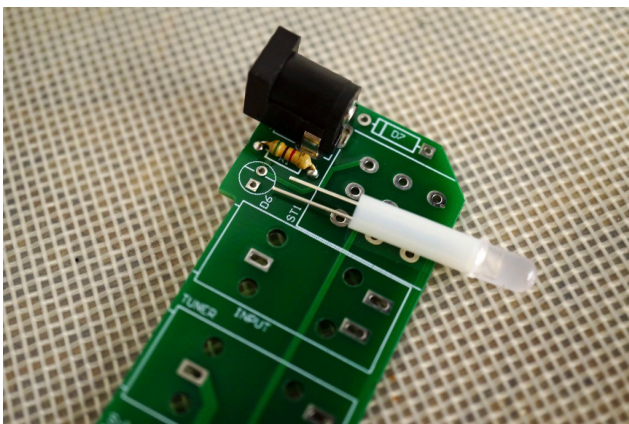
LEDにスペーサーを入れます。青LEDからスタートしてください。



スペーサーは、片側に2つの穴が空いています。この穴が開いている方からLEDを差し込みます。

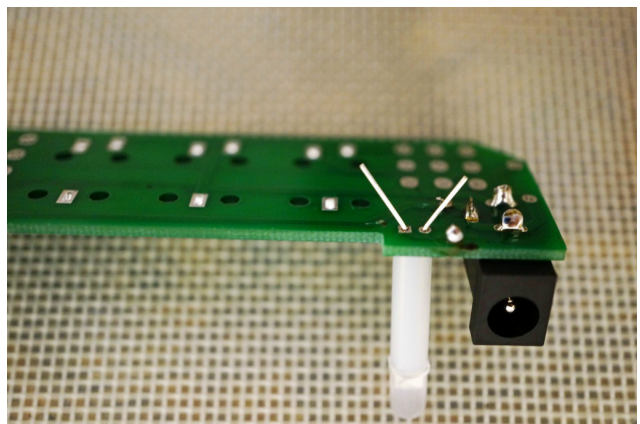


スペーサーを取り付けると、LEDがろうそくのような形になります。

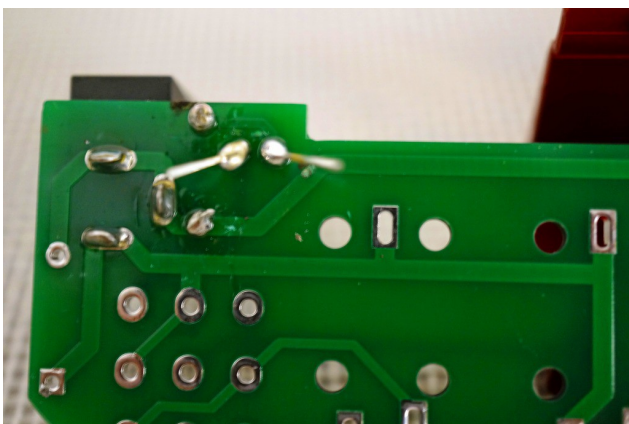


LEDをPCBに取り付けます。LEDは取り付ける方向が決まっています。PCBの丸い穴には短い方のリード線、四角い穴には長い方のリード線を挿入します。PCB上の位置により、方向が逆となっていることがありますので、必ず1つ1つ確認します。

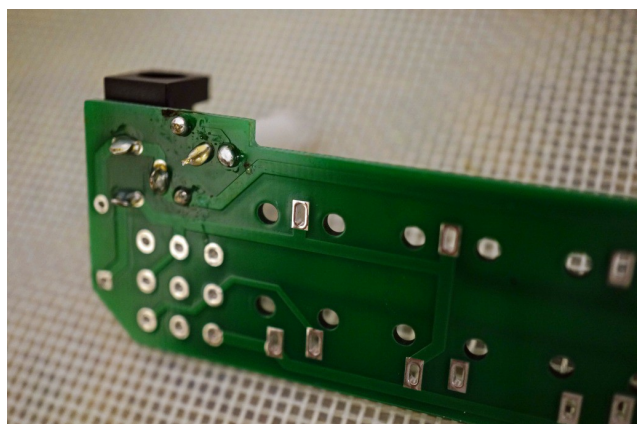
また、この右端のLEDは青LEDを取り付けます。他のLEDはすべて赤LEDです。



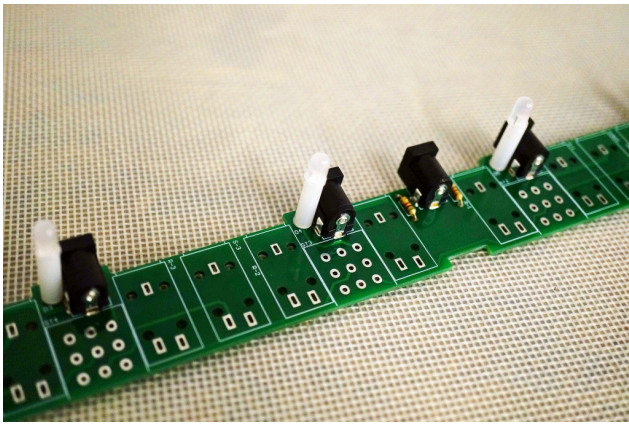
LEDをPCBの穴に通し、リード線を広げて仮固定します。



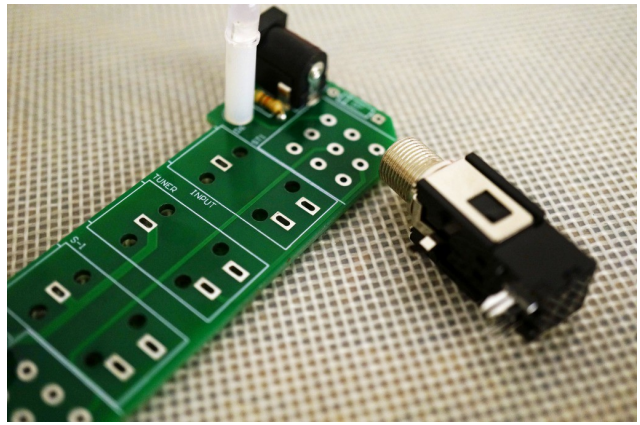
リード線の根本をはんだ付けします。



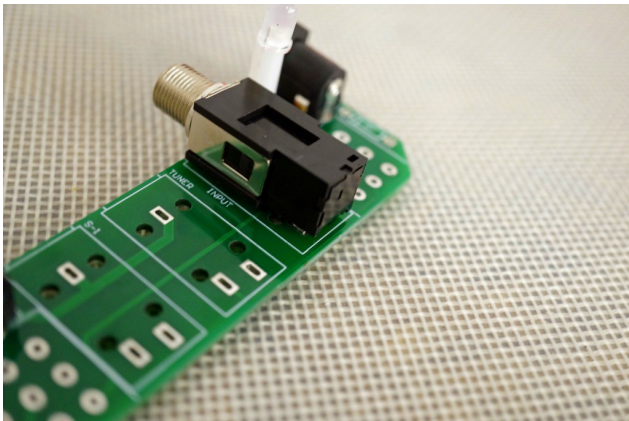
はんだ付けが終わったら、余ったリード線を切り取ります。



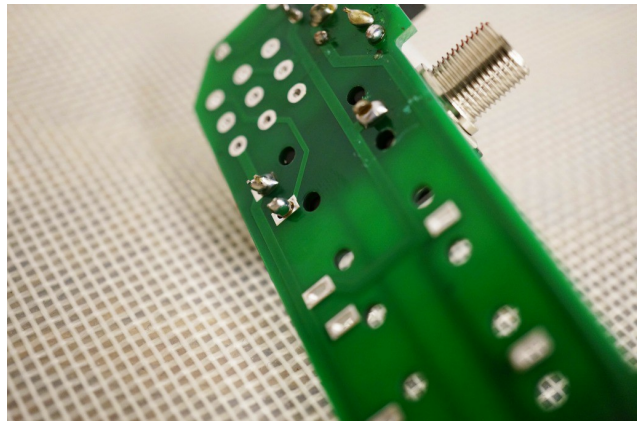
他の赤 LED も同様に行います。



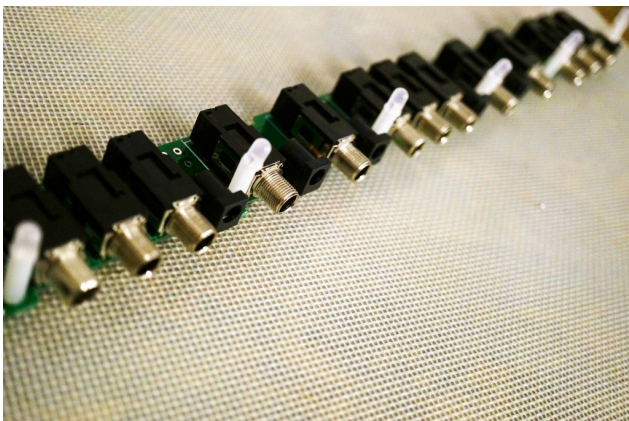
次にジャックを取り付けます。



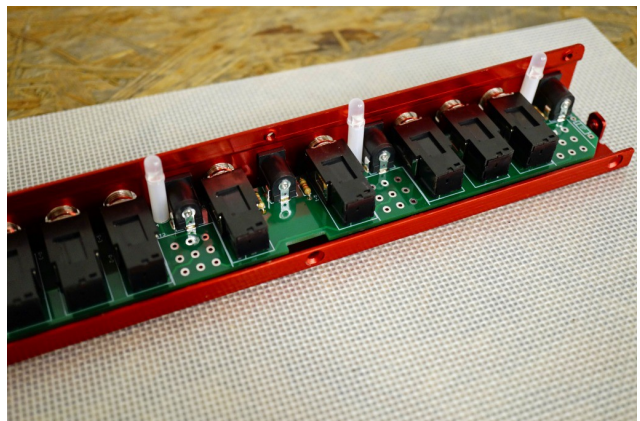
ジャックの方向を合わせ、穴に端子を合わせます。



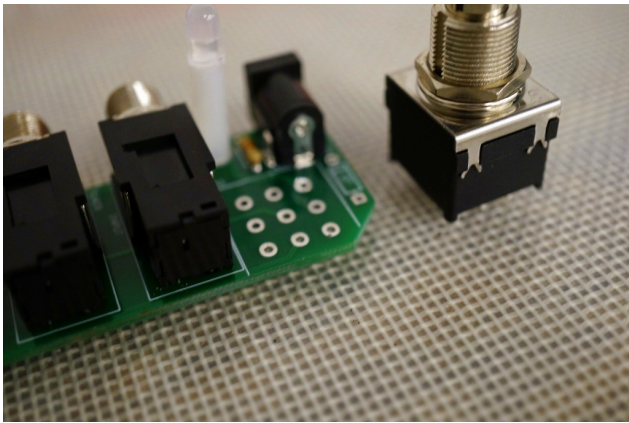
端子を奥まで通し、裏側からはんだ付けします。はんだをつける際、必ずジャックとPCBをしっかりと押さえて行ってください。ジャックがPCBから浮いた状態にならないようにします。



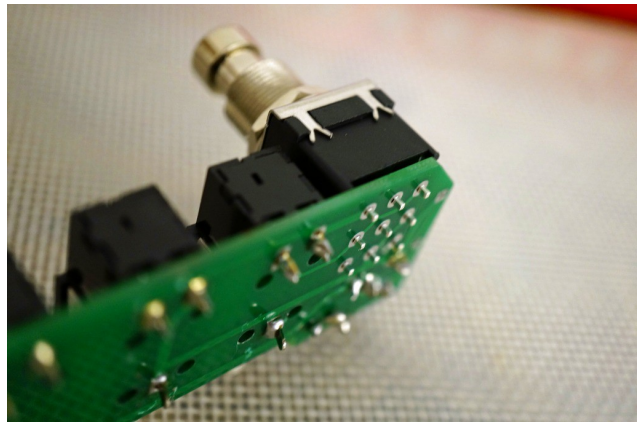
すべてのジャックを取り付けます。ジャックが浮いていると、高さがバラバラになってしまい、筐体に入らなくなりますので、必ずジャックが浮いていないことを確認しながら作業を行います。



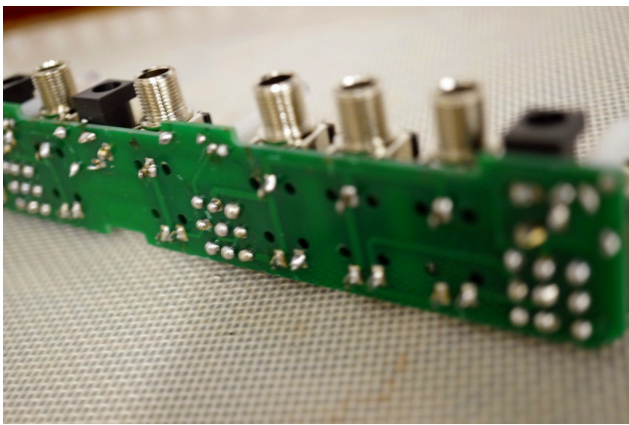
ジャックを取り付けたら、一度筐体に設置してすべてのジャックが筐体の穴に通ることを確認します。



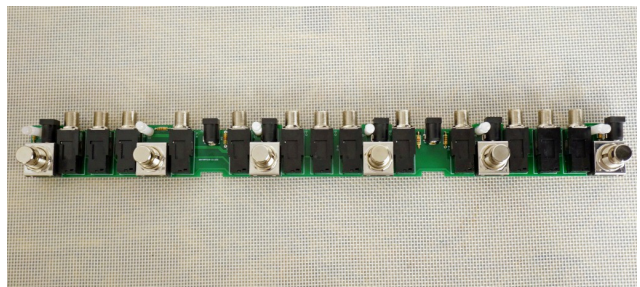
続いて、フットスイッチを取り付けます。



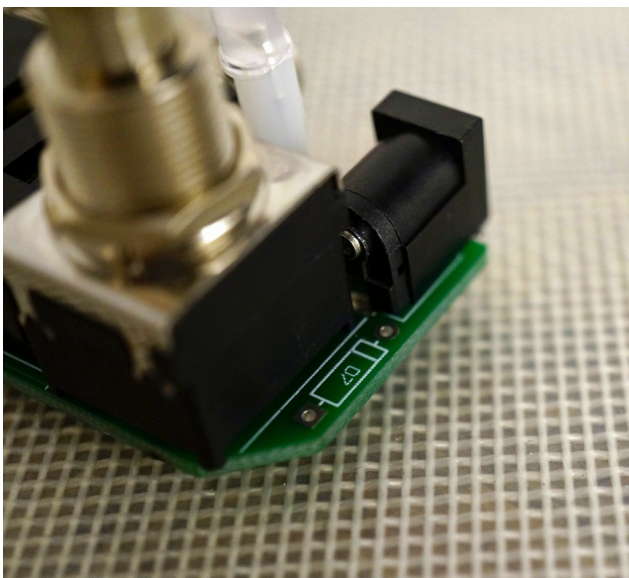
フットスイッチをPCBの穴に合わせて取り付けます。フットスイッチは方向がありますが、PCBの穴に合う方向であれば前後はどちらでもかまいません。



フットスイッチの端子をはんだ付けします。また、同様にすべてのフットスイッチを取り付け、はんだ付けします。

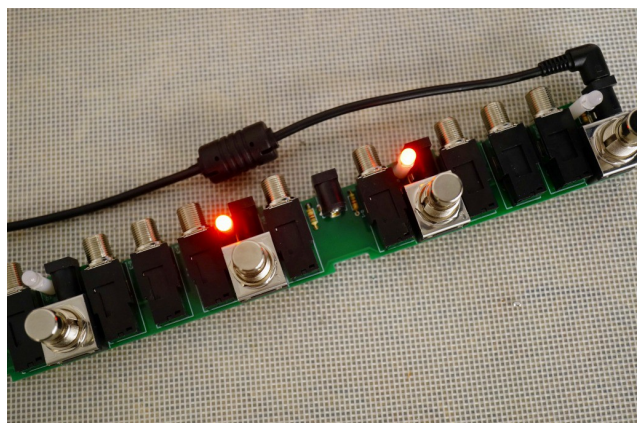


これで、PCBへのパーツの取り付けが完了しました。

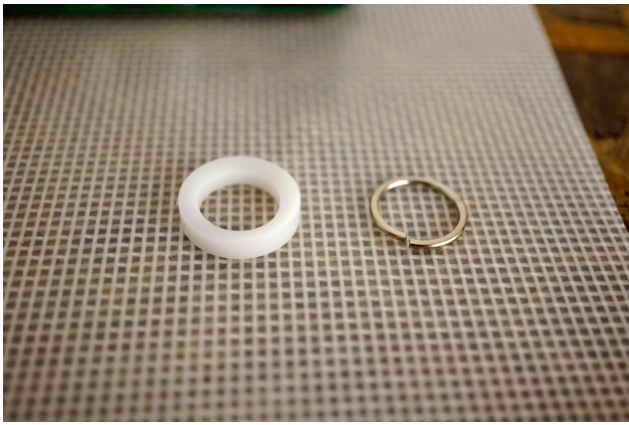


PCB右端にD7という表記がありますが、ここには何も取り付けません。(旧バージョン時の表記の残りです。)

### 3. 筐体への組み込み



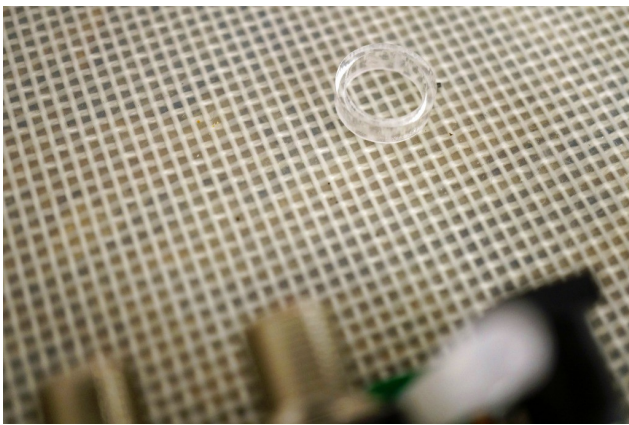
すべてのパーツを取り付けたら、センターマイナスDC9Vアダプターを右端のDCジャックに接続して正常に動作するか確認します。



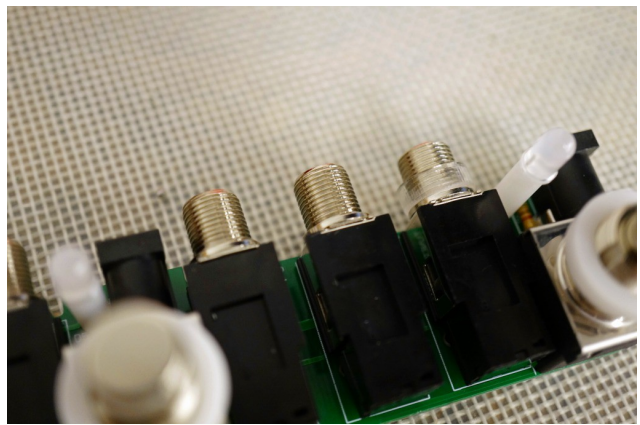
フットスイッチ用のリング(白)とワッシャ(内側)を用意します。内側用のワッシャは切れ込みがあります。



ワッシャ→リングの順にフットスイッチに通します。  
※筐体に取り付けた際、フットスイッチが十分に筐体の穴から出ないときにはリングを取り外してみてください。



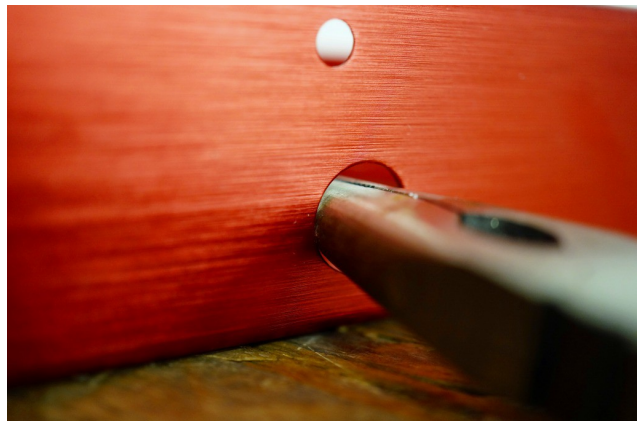
ジャック用のリング(透明)を用意します。



リングをすべてのジャックにはめ込みます。



筐体のグランド通電加工を行います。まずはフットスイッチ穴まわりの塗装を剥がします。



このように、ペンチ等を差し込んでグルグルと回し、フットスイッチ穴側面部の塗装を削ります。





このように、塗装が削ります。

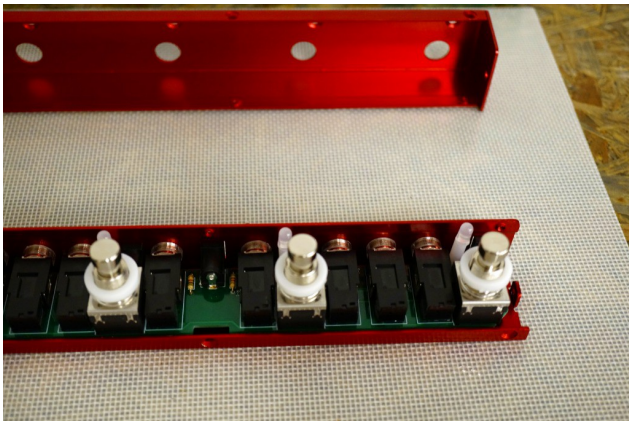


同様に、ジャック穴についても行います。

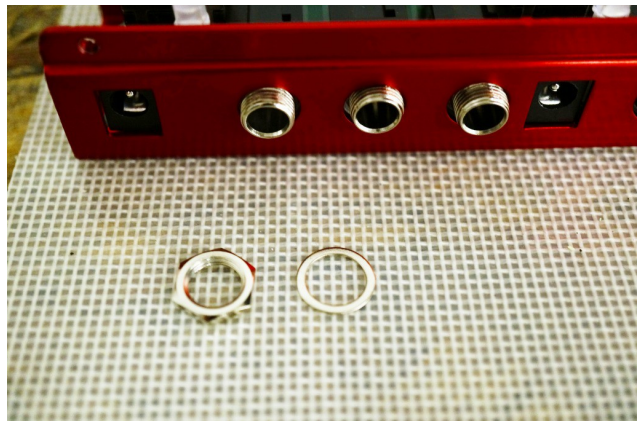


この筐体の加工は、フットスイッチ穴とジャック穴すべてで行う必要はありませんが、もしご使用時にノイズが出るようなら、加工を行っていない穴の塗装も剥がしてみてください。  
最初からすべての穴の塗装を剥がしても問題ありません。

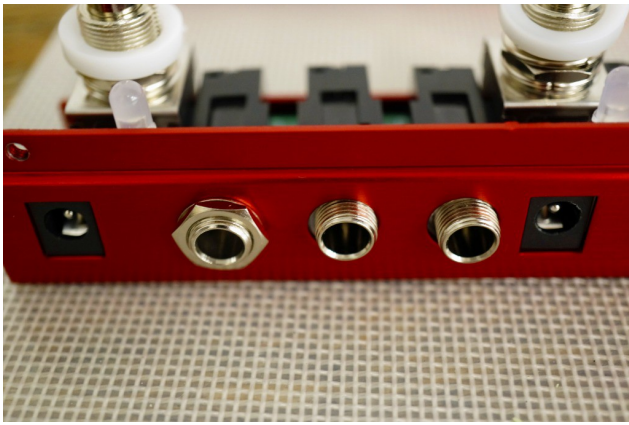
このように、ジャックの穴の側面を削ります。



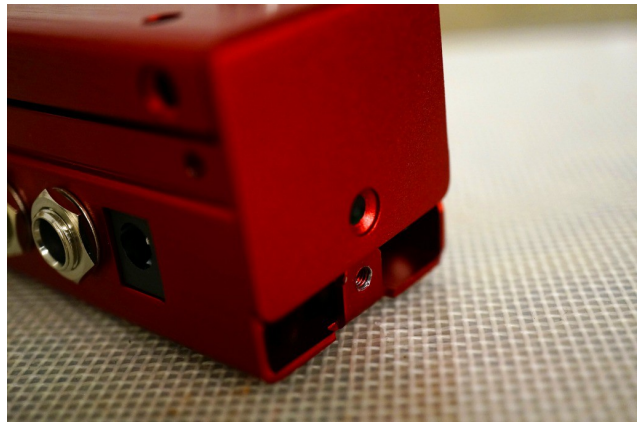
PCBを筐体に組み込みます。まずはジャックの穴に合わせる形で、筐体の下側に取り付けます。



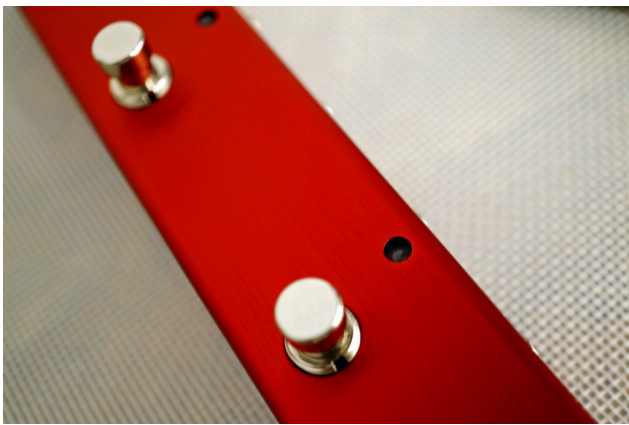
ジャックを仮止めします。



ジャックにワッシャを通し、ナットを締めます。このときは手で締められる程度です。



筐体をかぶせます。このとき、両側の写真の部分が引っかかることがありますので、その際は筐体上側を軽く引っ張って取り付けます。



LEDの位置を合わせます。位置が合わないときはLEDが傾いていますので、いったん筐体を開いてLEDの角度を調整します。



筐体の両側面をネジで留めます。



フットスイッチにワッシャを通し、ナットで締めます。



このとき、フットスイッチの高さが足りない場合はワッシャを通さずにナットを締めても問題ありません。(ワッシャを使用していないと、ご使用いただいている際に筐体の塗装が剥がれやすくなります。)

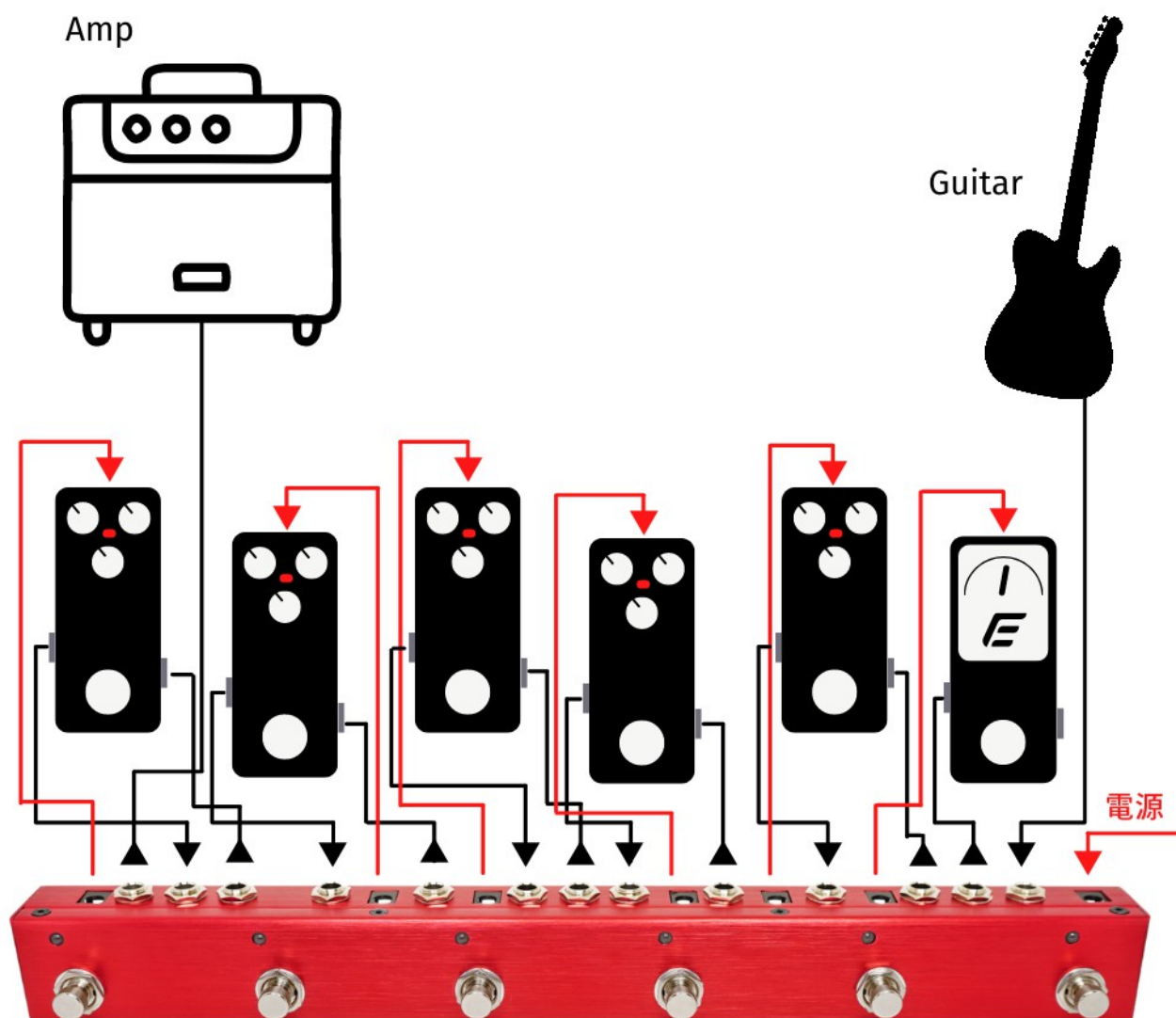


すべてのフットスイッチが固定されたら、すべてのネジを留め、すべてのジャックのナットを強く締めます。



これで 5loopBOX が完成しました。  
お好みで裏蓋にゴム足を取り付けてご使用ください。面ファスナー等でボードに固定する場合はゴム足を使わない方が設置しやすくなります。

●接続例



一番右側のフットスイッチはミュートスイッチです。ミュートスイッチを押すと、アウトプットからの出力がミュートされ、チューナーアウトが有効になります。  
他のフットスイッチは、ループ 1~5 の各ループを個別に ON/OFF します。

スイッチは全てトゥルーバイパスとなっているので、ヴィンテージエフェクターなどの、どうしてもバイパス時に音が変わってしまうペダルも、トゥルーバイパスとして使用可能です。